

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	上下水道部	
	17013	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)		課名	下水道課 下水道工務G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	14:公共下水道事業会計
	基本施策	03:上下水道の充実			款	資1:資本的支出
	施策の方向	02:生活排水対策の推進			項	01:建設改良費
戦略プロジェクト	-		目		01:管渠整備費	
事業予定期間	H 29 ~ R 17 年度	主な根拠法令要綱等	下水道法、都市計画法			

目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	公共下水道区域拡大による多額の投資的経費や施設の維持管理費等の増加が見込まれることから、ライフサイクルコストの低減及び更新時期の平準化により施設の延命化を図り、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、適切な維持管理に努める。
概要	概要	下水道管設置後、特に年数が経過しているみどり町及びみずほ台の一部について、平成28年度に策定した「下水道管渠長寿命化計画」に基づき、施設の改築工事を実施する。また、次期長寿命化計画「ストックマネジメント計画」を策定し、適切な維持管理を推進する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	管更生工事 一式 布設替工事 一式 管渠設計委託 一式 ○管内カメラ調査 一式	ストックマネジメント計画策定 ○管更生工事 一式	管更生工事 一式 布設替工事 一式	
	年度実績	○管更生工事 L=397m ○布設替工事 L=50m ○管内カメラ調査 L=4,286m			
事業の計画・実績	計画額	事業費	60,000千円	49,000千円	60,000千円
		国庫支出金	28,500千円	24,500千円	24,000千円
		県支出金			
		地方債	28,350千円	22,050千円	32,400千円
		その他			
	事業費	一般財源	3,150千円	2,450千円	3,600千円
		事業費	115,740千円		
		国庫支出金	45,350千円		
		県支出金			
		地方債	52,900千円		
	決算額	その他	17,490千円		
		一般財源	0千円	0千円	0千円
		事業費	113,259千円		
		国庫支出金	45,350千円		
		県支出金			
人件費	地方債	52,900千円			
	その他	15,009千円			
	一般財源	0千円	0千円	0千円	
	総人件費	7,849千円	0千円	0千円	
	一般職員	7,849千円	0千円	0千円	
総コスト(+)	所要人員	1.00			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
	総コスト(+)	121,108千円	0千円	0千円	
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	整備率	計画値	47	58
		各年度末の整備率 (各年度整備済延長 / R7までの整備延長)	実績値	47	
			単位	%	%
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		

事業の改善行動	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 平成31年度に第1次長寿命化計画の事業が完了するため、第2次計画の検討準備を進める。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 第2次計画の検討準備を進め調査範囲を決定した。 また、国庫補助金を有効に活用し、事業進捗に努めた。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 計画どおりに工事発注を行いR7までの計画整備延長4,500に対し、R2時点で2,100mの経年劣化による破損管改築を計画していたが、一部、既設管の状況により工法検討が必要となったため、管渠設計を実施し、R2に約40mの残工事を行うこととなった。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 計画指標である整備率について目標を達成することができ、ライフサイクルコストの低減等、適切な維持管理に寄与した。	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 今年度に第1次長寿命化計画の事業が完了するため、第2次計画の策定を実施する。 また第2次計画については、現計画を検証し、効率的な計画を策定する。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 現状施設、資料の再確認を実施し、次計画の熟度を向上させる。 また、事業費の財源について国庫補助金・地方債を有効活用し、資金計画についても十分に検討する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 長期的な視点で下水道施設の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査・修繕・改善を実施することにより、持続的で適切な維持管理が実施できる。	
対応時期		令和2年度以降	

【1次評価者】	上下水道部 下水道課 下水道工務グループリーダー 水越 洋光
【最終評価者】	上下水道部 下水道課長 松尾 敏

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B		
	成果	B	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		115,740 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	72,540 千円
	令和元年度の最終予算額	62,374 千円
	令和2年度への繰越額	19,174 千円